

年次継続監視評価表(令和7年度)

1 基礎情報

対 象 施 設	春日部市立ふじ学園
施設の設置目的	児童福祉法第43条第1項に規定する福祉型児童発達支援センターとして、障がいのある児童に対し、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練を行うこと並びに心身の発達に遅れ又は心配があると思われる児童に対し、発達の支援を図ることを目的としています。
施設所管部署	福祉部 障がい者支援課
指 定 管 理 者	株式会社コマーム
指 定 期 間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
指定管理業務内容	(1)春日部市立ふじ学園条例第3条に規定する業務 (2)施設(設備及び物品を含む。)の維持管理に関する業務 (3)その他、仕様書に定める業務

2 施設利用状況の推移

区 分	過去5年間の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数(件数)	—	6,673人	7,932人	8,047人	8,460人	8,130人
対前年度比	—	—	1,259人	115人	413人	▲ 330人

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区 分	回答者数	満足度				
		施設・活動スペース	情報共有・連携	教室・イベント等	専門療育	全体
上半期	52人	96%	96%	89%	79%	98%
下半期	51人	93%	93%	87%	93%	93%
利用者の主な意見・要望等	・言語聴覚士や作業療法士の頻度を増やしてほしい。 ・きょうだい児へのケアの方法などの研修や交流会がもっと盛んになると嬉しい。					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内 容	参加者数等
キッズフェスティバル	ふじ学園、八木崎保育所の園児・保護者・職員が、お互いの施設について理解を深める行事。	65人
運動発達相談会	運動発達の悩みや不安を抱えるこどものご家族の方を対象に実施している相談会。	10人

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内 容	金 額
デッキ修繕	ウッドデッキのスロープ部分とふじ学園側の側面のパーツが劣化し割れたり外れたりしていた。両箇所ともに修理済。	168,850
調理室	食器保管庫のパッキン、スチームコンベンション軟水器カートリッジの交換を行った。	94,442
電話設備修繕	ふじ学園・八木崎保育所共に電話が繋がらず、大元の電話基板が壊れていることが判明。基板の修理を行い、再設置した。	264,000

6 収支状況

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合 計
収入額 A	217,616,490	221,899,254	218,764,042	218,520,641	225,919,224	1,102,719,651
内、指定管理料 a	216,048,500	220,677,000	217,180,000	217,180,000	224,540,000	1,095,625,500
内、給付費収入	0	0	0	0	0	0
支出額 B	217,616,490	221,899,254	218,764,042	218,520,641	225,919,224	1,102,719,651
内、人件費	114,852,151	119,857,046	119,516,828	126,535,699	132,409,080	613,170,804
収支額 A-B	0	0	0	0	0	0
対前年度比	—	0	0	0	0	—
想定事業費 C	343,074,339	395,832,208	357,687,214	354,794,942	357,190,144	1,808,578,847
削減額 C-a	127,025,839	175,155,208	140,507,214	137,614,942	132,650,144	712,953,347
特記事項 (増減額の説明等)						

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	特になし。
第2四半期	A	特になし。
第3四半期	A	特になし。
第4四半期	A	特になし。

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがいないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		直接支援員の利用者への支援態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		20 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
例年通り、「あったか懇親会」「夏祭り」「キッズフェスタ」を開催し、自治会の方々や近隣の高校の生徒に協力してもらい、地域住民との強い連携を生み出すことができた。「運動発達相談会」ではこどもの発達相談について専門職からのアドバイス等を行う機会を設けた。 経費については、市で直営した場合の想定事業費と比較し、約1億3200万円の削減を達成した。
指導に対する対応・改善状況について
不適事項は特になし。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)
令和6年度と比較し、療育支援、放課後等デイサービスの延べ利用者数は減少したが、通所支援の延べ利用者数は増加した。また、施設利用者(保護者)へのアンケートでは前年度に引き続き高評価を得ている。さらに、計画相談の件数に関しては前年度と比較して181件増の240件であり、大幅に増加した。 今後に向けて、ふじ学園が市内の障害児向けの障害福祉サービス事業所の中核となるような機能を整備する方向性ですすめており、春日部市の障害福祉のさらなる推進が期待できる。

令和7年度の評価結果	A
------------	---